

先ごろ 2/26 に原宿で開催されたイベント内のタトゥー環境が日本タトゥーイスト協会の推奨する衛生ガイドラインに収まっていないのではないかとのご指摘ですが、針、インク、グローブ、施術台まわりのバリアーなどは問題ありませんが、確かにイベントの行われた店舗の建物の構造として、トイレ、水場の位置がまず推奨ラインを満たしていませんでした。そしてオープンなイベントという性質上、パーテーションやカーテンでのブースの完全隔離はおこないませんでした。事前に促していた参加予約メール数からの予想をはるかに超える人数が来場したことによる混雑もありました。建物の別フロアでは軽食と飲み物の提供もあったので、それらも推奨ラインには届きませんでした。

普段の施術に関しては各々ゆとりを持ったスペースで行っているのですが、イベントにおける衛生ガイドラインの遵守について、今後の課題として真剣に取り組んでいきます。

また、イベント内で私が開いたセルフハンドポーク講座で一般の初心者針を持たせて自身に実作させた試みについては、初心者が衛生についての知識なしに針を自らの皮膚に刺して彫ることは危険性が高いため、今後は行わないこととします。

大島 托